

令和8年度 岐阜県ジュニアアスリート育成プロジェクト事業概要

1 目 的

運動能力が優れた人材を県内のジュニア世代から発掘し、県独自の「育成プログラム」を計画的・継続的に実施することにより、それぞれの適性に合った競技を選択できるよう支援することで将来オリンピックをはじめとする国際大会で活躍できるアスリート輩出を目指す。

2 内 容

(1) 発掘プログラム（見つける）

小学4，6年生を対象に運動能力測定を実施し，運動能力の高い選手を各25人程度発掘

(2) 育成プログラム（育てる）

①競技プログラム：各競技団体の優秀な指導者のもとで多競技を体験し，自分の得意な能力を理解しながら将来を見据えて，自分の適性にあった競技を選択できる能力を育成する

【ジュニア（中学1～3年生）】

10競技を年間20日程度，オリンピック出場の可能性のある競技に特化して3年間で体験

（予定競技）ウエイトリフティング，ローイング，フェンシング，自転車，レスリング，ホッケー，カヌー，ラグビーフットボール，ライフル射撃，陸上

【キッズ（小学5，6年生）】

12競技を年間20日程度，オリンピック出場の可能性のある競技に特化して2年間で体験

（予定競技）アーチェリー，ラグビーフットボール，スポーツクライミング，レスリング，ホッケー，ボクシング，ウエイトリフティング，フェンシング，ライフル射撃，ハンドボール，陸上，水球

②共通プログラム

- ・アスリートライフスタイル等のプログラムでの学びによる，プロジェクト修了後もプログラムを積極的に支えることができる人材の育成
- ・スポーツ科学（心理学，栄養学，医学，トレーニング，コーディネーション等）を通して，トップアスリートに必要な知識や知的能力の育成
- ・岐阜県強化指定高等学校などの部活動見学実施
- ・オリンピックなどトップアスリートを講師に講演会を実施

◎合宿プログラムの実施（追加）修了生との交流，GSSCトレーニング施設の見学，保護者プログラムの実施

(3) 選択プログラム（活かす）

育成プログラム修了時に，中学校・高校進学以降にトップアスリートを目指せる可能性のある最適な競技（部活動・クラブ）が選択できるよう，選手・保護者に助言（三者面談実施）

競技プログラムが終了した時点で再体験の希望など，日常的な相談を継続

(4) 修了生プログラム（支える）

育成プログラム修了後も競技・共通プログラムのサポート，在籍生との交流などに積極的に参加できる活動を展開

3 実施体制

主 催：岐阜県

協 力：（公財）岐阜県スポーツ協会，関係競技団体，岐阜大学，岐阜聖徳学園大学，岐阜協立大学，朝日大学，中部学院大学，大塚製薬(株)

後 援：岐阜県教育委員会，（独）日本スポーツ振興センター